

**平成 29 年度 成果宅配便「周年放牧肥育技術」  
—周年放牧肥育で生産した牛肉の紹介と試食  
を通じた意見交換会を開催—**

**ポイント**

- ・ 11 月 15 日（水曜日）に熊本県菊池市において、「周年放牧肥育技術」に関する意見交換会を開催します。
- ・ 農研機構が開発した「周年放牧肥育技術」を改良し、これまであまり活用されてこなかったジャージー雄子牛に適用した生産事例を紹介します。
- ・ 食肉専門シェフによる調理実演・試食も行います。

**概要**

農研機構九州沖縄農業研究センターは、標記の意見交換会を下記の通り開催します。

これまでに農研機構九州沖縄農業研究センターは、<sup>あかげわしゅ</sup>褐毛和種等を対象にして、周年放牧と補助飼料の給与を組み合わせた新しい肉用牛生産方法「周年放牧肥育技術」を開発しています。今回は、本技術に飼養期間を短くする等の改良を加え、ジャージー雄子牛に適用しました。

本意見交換会では、菊池市内での生産事例の紹介と、食肉専門シェフによる調理実演と試食を行います。耕作放棄地の解消や飼料自給率の向上、安定した赤身牛肉生産などが期待されることから、今後の普及が見込まれています。

記

1. 開催日時：平成 29 年 11 月 15 日（水曜日）15 時～17 時
2. 開催場所：菊池ミートガーデン ママトコ（熊本県菊池市七城町蘇崎 1310-3）
3. 申込方法：準備の都合上、取材を希望される場合は、下記広報担当者へ電話でお申し込み下さい。

**問い合わせ先**

広報担当者：農研機構九州沖縄農業研究センター 産学連携室長 樽本祐助

TEL 096-242-7682

FAX 096-242-7543

プレス用 e-mail：q\_info@ml.affrc.go.jp

本資料は、九州各県の県政記者クラブ、日本農業新聞九州支所に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。新聞、TV 等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

平成 29 年度 成果宅配便 『周年放牧肥育技術』  
周年放牧肥育により生産された牛肉の紹介ならびに試食を通じた意見交換会  
(第 2 回)

1. 趣旨

これまでに農研機構九州沖縄農業研究センターでは、褐毛和種等を対象にした「周年放牧肥育技術」を開発しています。今後は、本技術が様々な現場で適用可能であることを示すとともに、九州沖縄の各地で地域に応じた放牧赤身牛肉の生産が広まるよう、積極的な成果の発信につとめることとしています。

今回は、「周年放牧肥育技術」に飼育期間を短くする等の改良を加え、これまで積極的に活用されてこなかった小国町のジャージー雄子牛に適用した生産事例を紹介します。合わせて、民間レベルで初めて生産された放牧肥育ジャージー雄子牛肉を用いて、食肉専門シェフによる調理と試食を行い、情報交換を行います。

2. 開催日時 平成 29 年 11 月 15 日 (水) 15:00~17:00

3. 開催場所

菊池ミートガーデン ママトコ (熊本県菊池市七城町蘇崎 1310-3)

4. 参集範囲

畜産関係者 (特に流通)、報道関係者、その他主催者が認める者、最大 30 名程度。

5. 主催 農研機構九州沖縄農業研究センター

6. 内容

検討会 (約 1 時間)

1) 主催者挨拶

農研機構九州沖縄農業研究センター 小林良次 氏

2) 流通関係者より挨拶

株式会社共同 専務取締役 ママトコ代表 山下海南子 氏

3) ジャージー繁殖農家、放牧肥育農家の紹介

高村牧場 代表 高村祝裕 氏

宮川ファーム 代表 宮川素子 氏

4) ジャージー雄子牛の食資源化に関する研究

～周年放牧肥育技術を用いた生産事例～

農研機構九州沖縄農業研究センター 中村好徳 氏

情報交換会 (約 1 時間)

1) 食肉専門シェフによる調理と試食

ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ レストラン サンシェロ 白杵哲也 調理長

7. 内容に関する問い合わせ先

農研機構九州沖縄農業研究センター 農業技術コミュニケーター

小林良次

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

TEL : 096-242-7688 FAX : 096-249-1002 E-mail : ryoji@affrc.go.jp